

■千葉県域コンソーシアム公開市民講座

9月27日、「ちばから考える国際化」が千葉大学けやき会館大ホールで開催されました。日曜日にもかかわらず、千葉県関係者、各大学関係者、一般市民の方々の参加を得て、熱のこもった報告、討議が行われました。本学からは第1部パネルディスカッション「日本へのまなざし・日本からのまなざし」に、「東南アジアからの日本イメージ」をテーマに高田先生が報告されました。

■コンソーシアムの活動

◆2009年度第2回運営協議会の報告

日時 9月16日(水) 14:30～16:00

場所 神田外語大学1号館 第1会議室

参加 千葉大学(山田・姉川・藤本)・敬愛大学(高田・薬師寺)・城西国際大学(並木)・神田外語大(藤田・長田)

1. 公開市民講座について
2. FDの共有化について、千葉大学で開催するFDをコンソーシアム大学間に公開する。
3. 取り組みの進行状況の点検について
4. コンソーシアム共通授業の開設について
5. moodleを用いたeラーニング教材のモデル
神田外語大学の取り組みの紹介

◆(学内)第6回コンソーシアム支援委員会の報告

日時: 7月28日(火) 11:15～12:15

場所: 2号館小会議室

出席者: 高田・高橋・矢澤・櫛田・矢澤達・畑中・望月・石橋・薬師寺・安岡・綱淵

1. 今年度事業計画と予算
2. moodle研修会の経過報告
2. 単位互換科目の設定依頼
3. コンソーシアム市民公開講座の参加協力
4. その他



◆今後の予定

- ・9月29日(火) コンソーシアム支援委員会開催
- ・eラーニング・コンテンツ開発の進行状況に関する報告・討議を行う大学FDの開催
12月8日(火) 15:00~16:30に開催予定

■moodleによるeラーニング教育の構築に向けて

◆単位互換制度開始に伴う、公開授業のシラバスの掲載

コンソーシアム4大学間の単位互換制度が確立しました。2009年度後期の授業のうち、敬愛大学が他校に公開している授業のシラバスは本学 moodle サイトのトップページ (<http://shujou.u-keiai.ac.jp/>) に掲載しています。

開放授業の内訳は、国際学部：38科目、・経済学部：12科目、計：50科目です。



moodle トップページ

2009年度後期 敬愛大学開放科目一覧

月	火	水	木	金	
1	日本文学 (津田幸子) ● 日本文学 (津田幸子) ● 日本文学 (津田幸子)	環境教育 (津田幸子) ● 環境教育 (津田幸子) ● 環境教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	アジアの歴史と社会 (津田幸子) ● アジアの歴史と社会 (津田幸子) ● アジアの歴史と社会 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)
2	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	中国研究 (津田幸子) ● 中国研究 (津田幸子) ● 中国研究 (津田幸子)	いのちと環境(環境教育) (津田幸子) ● いのちと環境(環境教育) (津田幸子) ● いのちと環境(環境教育) (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)
3	国際政治 (津田幸子) ● 国際政治 (津田幸子) ● 国際政治 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)
4	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)
5	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)	英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子) ● 英語教育 (津田幸子)

シラバス一覧

■moodleについて

◆moodle 説明会開催報告

eラーニングシステム moodle を円滑に利用していただくために、本学教員向けに moodle 説明会を開催しました。昼休みというお忙しい時間帯にもかかわらず、全教員の半数弱の先生方にご参加いただき、実際に PC を使用しながらコース作成から、授業資料のアップロード、テスト作成までおこないました。

＜開催日時＞

- ・開催日時：6月9日～8月3日の毎火曜日・木曜日 (12:15～12:50)
- ・開催回数：のべ14回
- ・参加人数：22人/52人(敬愛大学全教員数) 43%の参加率

◆授業コース*作成状況の報告

moodle 上に授業コースを作成された先生方は、25名（含む特任教員、2009年9月29日現在）です。すでに複数の先生が、自分の授業で利用するために複数コースを作成し、学生登録を済ませて、実際に利用・運用していらっしゃいます。作成されたコース数は、国際学部：17コース、経営学部：14コース、本事業用専用コース：3コース、moodle 説明会用：1コース、計：35コースです。

コースの管理は、学生の登録も含めて基本的に先生方にお任せしていますが、技術的な問題点や、説明会の開催など、特任教員が随時サポートしています。お気軽にお問い合わせください。

*moodle では1コマ分の授業科目をコースと呼んでいます。

■第4回コンソーシアムFDの報告

主題：授業資料の著作権について～ e-learning の教材作成に向けて ～

講師：尾崎 史郎 先生（放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター 教授）

報告：2009年7月7日（火）に、敬愛大学コンソーシアム第4回FDが、3701教室において開催されました。本講演会は、e-learningによる大学間連携授業の構築を目指す目的で開催しました。

講演会では、授業資料を web 上に掲載する際の「著作権」がテーマに掲げられました。ICT 活用教育の著作権問題で著名な尾崎史郎先生（放送大学）をお迎えし、授業資料を e-learning として活用する際の留意点についてお話いただきました。講演の要旨は、教材を web 上で活用する際の著作権等の問題をどう処理するかにまとめられます。それらは、

1. 学生の個人情報の取り扱いに十分な配慮をすること
2. 資料を複製する際は、必要最低限の範囲の利用に留め、引用の明示をすること
3. 公衆送信権等に配慮し、授業に関連のある資料を適切に e-learning で活用すること

ということでした。これらのポイントを押さえることで、今まで各教員が word や Power Point 等で蓄積してきた授業資料を、適切に web 上に掲載し運用することができ、学生への学習支援が可能になるとのことでした。

情報化社会の進展にともない、学校教育においても情報機器の活用が進んでいますが、今回のFD講演会では、適切な著作権法の理解と法の遵守の大切さを学べる大変有意義な機会となり、質疑応答時間ぎりぎりまで活発に質問が飛び交い盛況でした。



（大勢の先生方が参加されたFD会場の様子）

■千葉大学との意見交換会の報告

2009年9月15日(火)に千葉大学コンソーシアム特任教員と本学特任教員との間で、moodleの利用に関する意見交換会を持ちました。教員数、学生数ともに多い千葉大学ですが、現在約50のコースが登録されていて、各教員は、例えば15回の授業のうち1回分の授業資料をmoodleにアップしたり、実験手順のビデオをアップしておくなど、授業の部分的サポートとして利用しています。千葉大学の特任教員は、コース作成の技術的サポートに徹して、教材作成には関与していません。

また今後、コンソーシアム全体の事業目標の再周知や、教材の共有方法のマニュアル化など、早急に解決しておくべき問題点が挙げられました。

■eラーニング研究会等参加報告

- 07月04日 私情協「ICT活用教育研究会」(アルカディア市ヶ谷)に特任教員が参加
- 07月11日 青山学院大学HiRC主催のeラーニングセミナーに特任教員が参加
- 07月25,26日 京都大学「大学生研究フォーラム2009」FDシンポジウムに特任教員が参加
- 08月04,05日 放送大学eラーニング研修会「インストラクショナル・デザインセミナー」に特任教員が参加
- 09月03日 私情協「教育改革IT戦略大会」(アルカディア市ヶ谷)にコンソーシアム支援委員が参加
- 09月19日 東京大学「日本教育工学会全国大会ワークショップ」に特任教員が参加

■UPO-NET「オンライン学習大学ネットワーク」への加入

リメディアル教育や日本語教育等の支援を目的に、「オンライン学習大学ネットワーク(UPO-NET)」へ加入を致しました。UPO-NETからは、「学び直す日本語」、「日本語検定」、「リメディアル数学」等のeラーニング・コンテンツが無料配信予定です。これらは、コンソーシアム事業で導入された授業支援ツール「moodle」を使うことで活用いただけます。導入準備が済む秋以降に、追ってご連絡します。

連絡先

【敬愛大学 戦略的の大学連携支援事業コンソーシアム支援委員会】

特任教員：石橋嘉一 (y-ishibashi@u-keiai.ac.jp)

研究室：3号館613号室 内線(1520)

オフィス・アワー：月曜日・木曜日 10:00~17:00

(上記以外の時間はメールにてご連絡ください)